

ホクコーユニハーブ®フロアブル

■種類名：プレチラクロール・ベンゾフェナップ水和剤
■有効成分：プレチラクロール-----5.0%
 ベンゾフェナップ-----20.0%
■化管法指定物質：プレチラクロール〔第1種〕-----5.0%
 ベンゾフェナップ〔第1種〕-----20.0%

■登録番号：第18717号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：1994.04.27
■性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：3年
■包装：500ml×20本
 2℥×6缶(地域限定)

【特長】

- 移植前（移植7日前まで）および移植直後～ノビエ1葉期（但し、移植後30日）まで使用可能な初期除草剤。
- S U剤抵抗性雑草、ウリカワやオモダカなどの多年生雑草にも有効。

【適用内容】（2024年11月末日現在）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数	ベンゾフェナップを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ	植代時 (移植7日前まで)	500 ml /10a	1回	植代時に原液のまま 散布し混和する	2回以内	2回以内
		植代後～ 移植7日前まで			原液湛水散布		
		移植時			田植同時散布機で施用		
		移植直後～ ノビエ1葉期 但し、移植後 30日まで			原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による滴下		

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- オモダカの防除は、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - ◆ 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ◆ 軟弱な苗を移植した水田
 - ◆ 極端な浅植の水田及び植付不良で根が田面に露出している状態
- 水田の代かき、均平はていねいに行い浮遊物のワラくずなどのごみはできるだけ取り除くこと。
- 強風時の散布はさけること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布に当たっては水の出入りを止めて湛水のまま均一に散布し、散布後少なくとも4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm程度)を保って田面の露出をさけること。また、散布後7日間は落水、かけ流しをしないこと。自然減水により田面の一部が露出する間際になったら、水尻は止めたままにし、通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させること。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意すること。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ること。
 - ◆ 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ◆ 滴下に当っては散布装置のノズルを使用しないこと。
 - ◆ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないこと。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - ◆ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 - ◆ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
- 梅雨期等、散布後に多量の雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないように注意すること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
散布後は水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。



作成日 1994年10月27日
改訂日 2025年04月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ホクコーユニハーブフロアブル
整理番号	1019-20
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(除草剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	生殖毒性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(中枢神経系 腎臓 血液系)
環境有害性	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(血液系) 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ H371 血液系、腎臓、中枢神経系の障害のおそれ H373 長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の 障害のおそれ H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い 毒性

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこ
と。(P202)
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこ
と。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する
こと。(P280)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡する
こと。(P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察／
手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けるこ
と。(P314)
漏出物を回収すること。(P391)

応急措置

保管 廃棄	施錠して保管すること。(P405) 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の 廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
他の危険有害性 重要な徴候及び想定される非常事態の概要	情報なし 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名

混合物
プレチラクロール・ベンゾフェナップ水和剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド (一般名 プレチラクロール)	5.0%	$C_{17}H_{26}ClN O_2$	-	-	51218-49-6
2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチルピラゾール 5-イルオキシ]-4'-メチルアセトフェン (一般名 ベンゾフェナップ)	20.0%	$C_{22}H_{20}Cl_2N_2 O_3$	-	8-(2)-1322	82692-44-2
水、界面活性剤等	75.0%	-	-	-	-
エチレングリコール	5.0%	$C_2H_6O_2$	(2)-230	既存	107-21-1
非晶質シリカ	1.0%	SiO_2	(1)-548	既存	112926-00-8
メタノール	0.9%	CH_4O	(2)-201	既存	67-56-1

分類に寄与する不純物及び安定化添加物
情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合	気分が悪いときは、医師に連絡する。 多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医師に対する特別な注意事項	ばく露による二次災害の防止。 情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。
火災時の特有の危険有害性 特有の消火方法	火災時に有害ガスが発生するおそれがある。 消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。

周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 少量の場合は、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させて取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などで空容器に回収する。
回収後の少量の残留物は、土砂又はおがくず等に吸収させる。

二次災害の防止策 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触回避
衛生対策 『10. 安定性及び反応性』を参照。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする事。
作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

安全な保管条件 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エチレングリコール	未設定	未設定	TWA -, STEL C 100 mg/m ³ (H)
メタノール	200ppm	200ppm(260mg/m ³)(皮)	TWA 200 ppm, STEL 250 ppm (Skin)

設備対策 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 防じんマスク

手の保護具 保護手袋

眼の保護具 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
 皮膚及び身体の保護 保護服、保護長靴
 具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体(水和性粘稠懸濁液体)
色	類白色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	6.1(×1)
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.09(25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、高温、多湿
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット(雄) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
		ラット(雌) LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
	経皮	ラット(雄) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
		ラット(雌) LD ₅₀ > 2,000 mg/kg
皮膚腐食性／皮膚刺激性		皮膚刺激性試験(ウサギ)：刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		眼刺激性試験(ウサギ)：軽度の刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性		皮膚感作性試験(モルモット)：弱い感作性
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		混合物は区分1Bのメタノールを0.3%以上含有し、混合物としては区分1Bに該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		混合物は区分1(血液系、腎臓、中枢神経系)のエチレンジクロールを1.0%以上10%未満含有し、混合物としては区分2(血液系、腎臓、中枢神経系)に該当する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		混合物は区分2(血液系)ベンゾフェナップを10%以上含有し、混合物としては区分2(血液系)に該当する。
誤えん有害性		データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	魚類：コイ	LC ₅₀ (96h)	31 mg/L
	甲殻類：オオミジンコ	EC ₅₀ (48h)	1.13 mg/L
	藻類：緑藻	ErC ₅₀ (24-48h)	0.00920 mg/L
		ErC ₅₀ (24-72h)	0.00918 mg/L
残留性・分解性		データなし	
生体蓄積性		データなし	

土壌中の移動性
オゾン層への有害性

データなし
データなし

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

汚染容器及び包装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
UN No.
Proper Shipping Name
Class
Sub Risk
Packing Group
Marine Pollutant

IMOの規定に従う。
3082
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
9
-
III
Applicable
ICAO/IATAの規定に従う。

国内規制

航空規制情報
UN No.
Proper Shipping Name
Class
Sub Risk
Packing Group
陸上規制
海上規制情報
国連番号
品名
クラス
副次危険
容器等級
海洋汚染物質
航空規制情報
国連番号
品名
クラス
副次危険
等級

3082
ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
9
-
III
非該当
船舶安全法の規定に従う。
3082
環境有害物質(液体)
9
-
III
該当
航空法の規定に従う。
3082
環境有害物質(液体)
9
-
3

特別の安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号

171

15. 適用法令
農薬取締法
労働安全衛生法

登録番号 第18717号
名称等を表示すべき危険物及び有害物
プレチラクロール
ベンゾフェナップ(2026年4月1日以降)
エチレングリコール
非晶質シリカ(2026年4月1日以降)
メタノール
名称等を通知すべき危険物及び有害物
プレチラクロール
ベンゾフェナップ(2026年4月1日以降)
エチレングリコール
非晶質シリカ(2026年4月1日以降)
メタノール
皮膚等障害化学物質等(則第594条の2)
プレチラクロール
エチレングリコール

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法

船舶安全法
航空法

メタノール
非該当
第1種指定化学物質
プレチラクロール
ベンゾフェナップ
有害性物質
その他の有害物質

16. その他の情報

記載内容の問合せ先

会社名
担当部門
電話番号
FAX番号

北興化学工業株式会社
企画部 環境安全チーム
03-3279-5151
03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)

中毒110番 365日 24時間対応

一般市民専用電話(情報料無料)

(大阪) 072-727-2499

(つくば) 029-852-9999

医療機関専用有料電話(1件2,000円)

(大阪) 072-726-9923

(つくば) 029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項

本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。